

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを ともに生きよう感謝の心で



学校だより

7月号

横浜市立谷本小学校
令和4年6月30日

HP アドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamoto/>



「国際平和のために、自分がやりたいこと」

校長 高橋 哲雄

去る6月23日に、鉄小学校を会場に、青葉区小学校国際平和スピーチコンテストが開催されました。本校からは、代表として6年生の児童が参加しました。「持続可能な森林づくりのために」というタイトルで、谷本小学校での森の保全活動に参加した体験などを交えながら、思いを込めてスピーチをすることができました。



この取組は、毎年6年生が、日本の平和や国際平和のために、自分の考えや自分がやりたいことを言葉で表現することによって、平和に対する意識を高め、自ら実践しようとする態度の育成することを目指して行われています。テーマは「国際平和のために、自分がやりたいこと」です。持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標から選択します。6年生全員がテーマを基に考え、調べたことをまとめ、各クラスでスピーチを行い、各学級の代表者を選びました。その後、体育館で代表者が6年生、5年生を相手にスピーチを行い、学校の代表者を選出しました。各学級の代表者で行われた校内でのスピーチコンテストでは、SDGsの17の目標のうち、「6.安全な水とトイレを世界中に」、「7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「10.人や国の不平等をなくそう」、「12.つくる責任つかう責任」、「15.陸の豊かさを守ろう」などを取り上げたスピーチが行われました。子どもたちにとって、広く世界に目を向け、持続可能な社会の実現に向けて考える良い機会になったのではないのでしょうか。

「地球（自然）は未来の世代からの借りもの」という言葉を聞いたことがあります。「借りもの」ですから、大切に使い、時期がきたらきれいな形で返さなければなりません。世界の人々（現在約77億人。予想される2050年の人口は約97億人）が、便利で自由に「たくさん作ってたくさん使う」生活を続けていたら、未来の世代にこの地球（自然）を残すことはできません。夏休みの前に、子どもたちへ向けて、節電や節水を例にしながら「私たちにできることは・・・」という話をしようと考えています。自分たち、そして、未来の世代のためにということを考える機会になればと思っています。